

2025年（R7）主要事業一覧

No.	事業名	概要	所管課 (市外局番 0584)
1	市制施行20周年記念式典をはじめとする記念行事・記念イベントの開催	<p>11月、市制施行20周年という大きな節目の年を市民の皆さんと祝うため、海津市OCT文化センターにおいて記念式典を開催し、約400人にご出席いただいた。式典では、市制施行20周年記念特別功労者表彰並びに令和7年度の「自治功労表彰」を実施したほか、20周年スペシャル動画の上映や宇宙からの来訪者「ツイーカ」への特別住民票の交付、市民吹奏楽団海津リーベラ音楽隊と海津明誠高等学校吹奏楽部とのコラボ演奏を行うなどし、本市のこれまでの歩みを振り返るとともに、今後の更なる発展を誓った。</p> <p>また、7月には「水辺で乾杯&スカイランタン」を長良川サービスセンター河川敷で開催し、市内外から約1,200人に参加いただいた。「大声コンテスト」や午後7時7分の「乾杯」の後、「スカイランタン」に願い事を書いて、七夕の夜空に浮かべた。</p> <p>このほか、野外映画上映会「かいづ星空シネマフェスティバル」、櫻井由香さん、内山正平さんを講師に迎えた「バレーボール レベルアップ! 2025」、「クレール平田 秋の感謝祭」など、市民団体主催の20周年記念を冠した多くのイベントが開催され、市民の皆様との協働・共創によるまちづくりが力強く前進していることを実感した。</p>	<p>総務課 秘書広報室 (TEL 53-1111)</p> <p>企画課 (TEL 53-1113)</p>
2	駒野工業団地における㈱ジーテクトと㈱湖池屋の新工場の操業開始	<p>4月、駒野工業団地への進出企業である「株式会社ジーテクト 中部工場」が本格稼働を開始した。新工場は、同社の30拠点目となる工場であり、生産ライン及び物流工程の無人化、業務のデジタル化など最新鋭の設備を備えた先進的な工場となっている。</p> <p>12月、同じく進出企業である「株式会社湖池屋 中部工場」が本格稼働を開始した。新工場は、中部圏では初めての製造拠点となり、主力となるポテトチップスや新しい高付加価値商品を製造する。また、オリジナルフレーバーのポテトチップス作りを体験できる「湖池屋GOGO! ファクトリー」が来春以降にオープンされる予定である。</p> <p>また、湖池屋中部工場への出荷を目指して、市内農業法人2社によるジャガイモの試験栽培が実施され、収穫されたジャガイモの品質について湖池屋製品の基準に適合するとの評価を得た。これにより、本市の農地に新たな可能性を見出すことができた。引き続き、関係機関と連携を図りながら栽培技術向上に向けた勉強会や研究を重ね、本市の農産物が湖池屋の製品として全国に届けられる未来を築いていく。</p>	<p>商工振興・ 企業誘致課 (TEL 53-1374)</p> <p>農林振興課 (TEL 53-1351)</p>
3	まちづくり協働センター「まちセン」のオープン	<p>4月、協働によるまちづくりの推進拠点として、「海津市まちづくり協働センター（愛称「まちセン」）」を南濃総合福祉会館「ゆとりの森」内にオープンした。</p> <p>まちづくり協働センターでは、まちづくりに関するセミナーの開催や市民活動に関する情報の収集・発信をはじめ、助成金の交付やNPO法人の設立に関する相談支援など、市民が自主的・自立的に行う市民活動を総合的に支援している。</p> <p>多様な主体の交流を促進し、協働によって新たな価値や解決策を創出する「共創による まちづくり」を推進していく。</p>	<p>生活・環境課 まちづくり 協働センター (TEL 71-6303)</p>
4	木曽三川輪中ミュージアム「わじゅ〜む」のオープンと宝暦治水完工270周年記念事業の実施	<p>3月、「海津市歴史民俗資料館」が「木曽三川輪中ミュージアム（愛称「わじゅ〜む」）」に名称を改め、これまでの「資料や解説を見る場所」から、地域の歴史や文化に触れ、学び、そして未来について考えることができる「活きたミュージアム」へとリニューアルした。プロジェクションマッピング等の映像コンテンツや視覚的に学べる展示が充実し、宝暦治水など「水との闘い」の歴史を後世に伝えるとともに、この地域の歴史、文化、風土、先人たちの営みの形跡を広く紹介する施設となっている。</p> <p>リニューアルオープンに際し、海津市出身のグラフィックアーティスト左右田薫氏によるライブペインティングを実施し、延べ300人の市民の手により、ミュージアムの顔とも呼べるウエルカムアートを制作した。</p> <p>また、10月には、宝暦治水完工270周年を記念し、「宝暦治水難工事、薩摩藩士の心に迫る」と題した講演・講演会を開催した。講演師・神田京子さんによる講演「講演師目線で紐解く、千本松原」が披露され、薩摩義士の姿や千本松原に込められた想いが伝えられたほか、鹿児島県歴史・美術センター黎明館前学芸課長の内倉昭文さんによる講演会「『宝暦治水』が紡ぐもの」が行われ、宝暦治水の意義や歴史的価値を掘り下げる内容に、多くのご来場者が耳を傾けた。</p> <p>12月には、地域で発生した災害の状況を分かり易く伝える施設として、「NIPPON防災資産」に認定された。</p>	<p>文化・スポーツ課 (TEL 53-1536)</p>
5	野外音楽フェスティバル「福フェス海津」の開催	<p>11月、市制施行20周年のメモリアルイヤーを飾るメインイベントとして、若者を中心とした市民に音楽を通じた交流を促進するとともに、まちの新たな魅力を創出し地域の活性化を図るため、木曽三川公園センターにおいて野外音楽フェスイベント「福フェス海津」を開催した。</p> <p>かいづシティアンバサダーのシンガーソングライター足立佳奈さんをはじめ、若者を中心に人気のアーティスト全7組に出演いただいたほか、地元の海津明誠高等学校書道部による書道パフォーマンスや地域吹奏楽団海津リーベラ音楽隊の演奏が行われた。会場には約24,000人ももの来場者が訪れ、地域活性化や本市の認知度向上に大きく寄与した。</p>	<p>企画課 (TEL 53-1113)</p>

2025年（R7）主要事業一覧

No.	事業名	概要	所管課 (市外局番 0584)
6	市制施行20周年を契機とした新たなシティプロモーションの展開	<p>市制施行20周年を契機に、新たなシティプロモーションを展開した。</p> <p>こどもから高齢者まで市民の誰もが「自分らしく」「いきいき」と暮らせる、そして、「賑わい」と「活力」に満ちた海津市の実現を目指し、「生涯繁盛」という新たなキャッチフレーズとそれを表現したキービジュアルの作成をはじめ、20周年記念のランディングページ、2本のPR動画（シティプロモーション動画、観光PR動画）、旅行用デジタル冊子「岐阜海津Love Walker」などを作成した。</p> <p>7月に公開したPR動画は、YouTube、Instagram、TikTokを活用したWeb広告を実施し、再生回数は合計65万回に達した。同じく7月に公開した「岐阜海津Love Walker」についてもWeb広告を実施し、閲覧数は23万回となっている。</p> <p>キービジュアルやPR動画には、本市の新キャラクターである謎の宇宙人「ヅイーカ」が登場し、Instagramのショートムービーでも、市内の観光スポットやイベントを紹介するなど精力的に活動している。</p> <p>これらのシティプロモーションにより、本市の認知度が向上したほか、今後の観光促進や人口流入への効果が期待できる。</p>	企画課 (TEL 53-1113)
7	「旧西江小学校」学校施設の利活用事業者の決定（㈱もりのがっこう）	<p>9月、「旧西江小学校」学校施設の利活用事業者に「株式会社もりのがっこう」が決定した。</p> <p>令和6年3月に閉校となった旧西江小学校を持続的かつ効果的に活用するため、利活用事業者の公募を実施した結果、校舎を現状のまま活用し、地域振興および地域経済の活性化に寄与する事業を提案した「株式会社もりのがっこう」を利活用事業者として決定した。</p> <p>「株式会社もりのがっこう」からの提案事業は、旧校舎をインターネット通信販売の出荷拠点として活用するものであり、新たな雇用の創出が期待される。また、地域住民との交流を目的としたワークショップやセミナーの開催を計画しており、旧西江小学校が再び人々の集う賑わいの場所となることが期待される。</p>	財政課 (TEL 53-1112)
8	羽根谷だんだん公園キャンプ場 全エリアの整備完了	<p>4月、「羽根谷だんだん公園キャンプ場」において、キャンプ場の対岸（羽根谷右岸）にデイサイトとドッグランをオープンした。また、利用者の利便性向上のため、オートサイト入口付近への駐車場の増設と散策路の再整備を実施した。これにより、羽根谷だんだん公園キャンプ場は、全エリアの整備を完了した。</p> <p>デイサイトは、既存のバーベキューサイトをリニューアルしたもので、バーベキューコンロを備えており、キャンプ初心者でも気軽に楽しんでいただける。一方のドッグランは、中型・大型犬、小型犬用の2つのエリアを設置したほか、フोटスポットやドッグシャワーなども完備しており、自然豊かなロケーションのもと、愛犬家の皆様楽しんでいただいている。</p> <p>「羽根谷だんだん公園キャンプ場」では、9月以降、毎月1回（12月を除く）イベントを開催し、各回400人～600人の皆様に参加いただいている。</p>	建設都市計画課 (TEL 53-1425) 観光・シティプロモーション課 (TEL 53-1115)
9	学校体育館への空調設備の設置	<p>今年度からの4年計画による、市内小中学校9校の体育館への空調設備の整備に着手した。</p> <p>小中学生の体育活動における夏の高温多湿による熱中症や冬の低温による体調不良を予防するとともに、学校体育館は災害時に避難所となるため、適切な温度調節により避難者の健康を保つことが期待できる。</p> <p>また、空調設備の整備に併せて自家発電機を設置し、災害発生に伴う停電時においても空調設備の運転を可能とした。</p> <p>第1期（令和7年度～令和8年度）として海津、今尾、城山小学校の3校、第2期（令和8年度～令和9年度）として海西、石津、下多度小学校の3校、第3期（令和9年度～令和10年度）として日新、平田、城南中学校の3校において整備を進める。</p>	教育総務課 (TEL 53-1467)
10	大手チェーン店「マクドナルド」と「フィットイージー」の新店	<p>8月、岐阜県に本社を置くアミューズメントフィットネスクラブの大手チェーンである「フィットイージー海津店」が、また、12月には世界最大級のハンバーガーレストランチェーンの「マクドナルド海津店」がオープンした。</p> <p>これらの知名度の高い大手チェーン店の進出により、雇用や賑わいの創出に大きな期待を寄せる。</p> <p>また、11月には本市とフィットイージー株式会社との間で包括連携協定を締結し、「健康増進に関すること」、「フィットネスを通じたまちづくりに関すること」、「地域活性化に関すること」、「防災・減災対策に関すること」の4分野において連携事業を推進することとした。さらに、マクドナルドの進出に伴い、フランチャイジーである株式会社オンステージとの間で、店舗を活用した子育て支援や職業体験などについて、包括連携協定の締結に向けた協議を進めていく。</p>	商工振興・企業誘致課 (TEL 53-1374) 企画課 (TEL 53-1113)